



令和 8 年 8 月 7 日
本部事務局連携推進課

「公共政策担当者のための EBPM 実践セミナー」の開催について ～データ利活用による医療費の適正化～

1 趣旨

近年、医療費適正化の政策目標が強化される中、医療・健康データの整備と利活用基盤が急速に進展し、自治体の政策形成においてデータ駆動のアプローチが一層重要になっています。こうした状況を踏まえ、エビデンスに基づく政策立案（EBPM：Evidence-Based Policy Making）は、施策の有効性を高め説明責任を果たすための基本的枠組みとして不可欠です。

本セミナーでは、EBPM の概念と実務を結びつけ、自治体がデータに基づき施策を企画・評価し、継続的な改善につなげるための『思考の枠組み』と『具体的な手法』を、先行事例を踏まえて、習得することを目的として開催します。併せて、中之島クロスでの開催を機に、現地のライフサイエンス拠点との接点を活かした産学官連携の可能性を具体的に示し、自治体の実務に直結する連携機会の創出も図ります。

2 開催内容

- (1) 日時：令和 8 年 9 月 14 日（月）（受付 12:30～）
第 1 部 13:00-15:00 講演
第 2 部 15:10-16:30 ライフサイエンス連携イベント
- (2) 形式：会場＋オンライン
（会場：中之島クロス 8F 0-NEXUS 内会場 大阪市北区中之島 4 丁目 3-51）
「0-NEXUS」の見学もできますので、是非会場にお越しください。
- (3) 対象：自治体の健康増進、医療保険、医療政策、政策企画等の関連部門担当者、公共政策に関心がある大学関係者 等
- (4) 定員：50 名（会場） ※オンライン参加の場合定員制限なし
- (5) 参加費：無料（事前登録制）
- (6) 参加申込：以下の URL よりご登録ください（9 月 4 日〆切）
<https://forms.cloud.microsoft/r/ceeJ4PMYVg>
- (7) 主催：関西健康・医療創生会議、関西広域連合
- (8) 共催：日本生命保険相互会社、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会



3 プログラム（敬称略）

第 1 部 講演（13:00-15:00）

開会挨拶 岸田 英嗣（関西広域連合本部事務局長）

- ① 「NDB を活用したニッセイ医療費白書の開発～関西広域での比較～」
衣川 潤（日本生命安心の多面体企画部 健康増進事業担当部長）
 - ② 「自治体政策に活かす EBPM」
五十嵐 中（慶應義塾大学大学院経営管理研究科特任教授）
 - ③ 「DPC データを活用した地域医療政策の事例紹介」
吉村 健佑（千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター長）
- ご挨拶 塙 栄一（日本生命 専務執行役員）

第 2 部 ライフサイエンス連携イベント（15:10-16:30）

- ① ライフサイエンス領域のスタートアップによるピッチイベント
- ② 0-NEXUS 見学 ※会場リアル限定

4 問合せ先 関西広域連合本部事務局 連携推進課（06-4803-5612）